



コロナ禍の今だからこそ…

伝えたい、みんなで考えたい「一人ひとりを大切にすること」

ふくしきょういく

福祉共育のとりくみ

「聞こえないってどういうこと？」
東近江市聴覚障害者協会手話チーム
のみなさんと学ぶ

市社協では、高齢の方、障がいがある方、ボランティア、地域活動者など様々な方々と一緒に学校などへ出向き福祉学習を実施しています。

協力いただいている皆さんは、コロナ禍で感染への不安な気持ちもある中、今だからこそ差別や偏見をなくし、誰もが大切にされる地域をみんなで考えようと、感染予防対策をして、学習にご協力いただいています。

東近江市聴覚障害者協会手話チームの皆さんは「大勢で学校へ行くのは控えよう。でも、何かできることをしたい。」と、「聞こえないってどういうこと？」のお話と手話を学べるDVDを作成してくださいました。また、手話ができなくても筆談や身振り手振りなどで伝える手段があり、相手へ伝えようとする、相手が伝えたいことをわかろうとする事の大切さを学べるよう、ジェスチャーゲームなどを取り入れた学習プログラムも一緒に考えてくださいました。

～五個荘小学校で学習しました！4年生のみなさんの声～

- ◆手話をもっと知りたい。
- ◆お父さん、お母さんにも教えたい。
- ◆聞こえない人と出会ったら、自分にできる方法で伝えたい。
- ◆困ることがたくさんあると思った。
でも親切にすることで、変えることができると思う。
- ◆聞こえなくても仕事をされたり、学校へ行ったり、
買い物されているのがすごいと思った。
- ◆手話ができなくても、聞こえない人と仲良くできると思った。
- ◆ジェスチャーは難しかった。伝わらないと悲しいと思った。
でも、わかってもらえたらとってもうれしかった。
だから、何を伝えようとされているか一生懸命わかろうとしたい。
- ◆聞こえない人はいっぱい困っていると思っていたけど、
聞こえないということ以外は聞こえる人と同じだと気づいた。



子どもから大人まで、地域に暮らすみんなで共に学び、共に育ち合うことを大切に「福祉共育」としてすすめています。

上記の学習内容以外にもご相談に応じますので、学校、自治会、団体、企業など福祉学習を希望される方は下記までお問合せください。



発行 社会福祉法人東近江市社会福祉協議会 ボランティアセンター

電話：0748-20-0555 / IP：050-5801-1125 / FAX：0748-20-0535

あなたのまちの っと 集いいね

何気なくて、気楽で、楽しくて、自分の
いきがいになる集いの場は「地域の宝物」

地域には「ホッ」としたり、人とのつながりから心も身体も元気になる様々な『集いの場』があります。そんな集いの場を「地域の宝物」として、その大事さや魅力を発信することを目的に、今年はコミセンや図書館などで「人が集うっていいね」＝「集いいね」と感じられる集いの場の展示を行いました。展示を見た方が「いいね」と思うところを選んでいただき、みなさんが一番「いいね」と思った集いの場を今年の「集いいね大賞」として決定しました。



今年の『集いいね大賞』は、市辺地区の「えんかクラブ」に決定！



演歌が好きな仲間の居場所
みんなで歌って、ワイワイガヤガヤ

老人クラブ事業でカラオケをされていましたが解散となり、演歌とカラオケが好きなメンバーで同好会として立ち上げられました。月毎に男性、女性の歌手の曲を交互にして、最新曲にもチャレンジされています。日頃の練習の成果をカラオケ大会や地域のサロンで披露したり、親睦会で温泉に出かけ歌を発表し合うこともあるそうです。

歌うこともですが、練習の休憩時間にワイワイと話すことも楽しみの一つになっているそうです。同じ趣味を持つ仲間が集い、好きなことを思う存分できるこの場がみなさんにとっては、いきがいとなり、元気になる場所になっています。



【information】 えんかクラブ

開催日 毎月第1・3水曜日19:30~21:30

開催場所 市辺コミュニティセンター



サロンや集いの場について気軽にご相談ください。

ほっとするようなエピソードや、地域での工夫をぜひ教えてください！



Facebookで
地域の魅力を発信中。

